

# 伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.114号> 2020年 9月1日 発行

## ごあいさつ



刈谷市議会議員

薄暮の初秋の風に 日暮れの早さを感じ、小さな感傷が心地好い頃となりました。快適な季節の到来と裏腹に、去る17日 内閣府が発表した4~6月期の 国内総生産(GDP)が、戦後最悪レベルに落ち込み、リーマンショックを年率で10%も上回るマイナス成長となることが報じられました。外食や観光関連だけでなく、自動車や電気製品等の耐久消費財を含め、殆どの分野の落ち込みが顕著な上、ロックダウンにより輸出も低迷。

個人や企業レベルの様々な対策努力が功を奏する半面、公的な助成が経済弱者に確実に届くよう現実を直視し 妥当且つ効果的配分となる事を切望します。

また、最前線で取り組む医療機関の打撃は甚大で本市の中核病院も例外ではなく、受診控えによる経営悪化が望まぬ事態を生まぬよう、市の最善の対策を模索しながら、市民の安心を担保する覚悟です。

さて、本市は2日より9月定例議会を開会し、コロナ関連の事業費として、110億円を超える追加の補正予算が上程される予定です。暮らしの安心と地域経済の活性化に資する諸施策に尽力して参ります。

## 歳時記

9月 7日 (月) 白露  
9日 (水) 重陽の節句  
10日 (木) 二百二十日  
12日 (土) 宇宙の日  
21日 (月・祝) 敬老の日  
22日 (火・祝) 秋分の日

ステイホームとGoToキャンペーンの間に去る夏を、不完全燃焼の思いで見送る方々も多かったのでしょうか。思い返せば 長かった梅雨と短い夏も新しい季節への期待に代えて、皆 それぞれの道を 力強く歩み始めています。



# 伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



## 刈谷 良いトコ ♪



刈谷市を 東西に貫く幹線道路の一隅には今はなき旧き面影を 市民の脳裏に刻み、歴史を留めるため 設けられた広場があります。さて、ここはどこでしょう？



8/1発行の<No.113>の答えは、東境町は刈谷ハイウェイオアシスの北端、遊園地の外れを囲む 緑陰の歩道でした。ぽっかりと抜けた緑の合間には、岩ヶ池の美観が広がります。

## "月"への招待☆

虫の音も美しい宵には 天空も清み、38万kmの彼方に輝く月の光が 神々しく感じられます。古よりひとは そんな月に美しい歌を詠み、物語を重ねて来ました。

月を愛でる習慣は 既に縄文時代からあったと言われ、名月観賞は唐の時代から、宋の頃には夜通し騒ぐ宴であったとか。それは平安の貴族社会にも浸透しました。舟遊びで 池の水面や盃の中に揺れる月を眺めながら、歌を詠み 愉しむものです。

同じ頃 生まれた日本最古の物語。"今は昔 竹取の翁というものありけり"と始まる輝ける姫は、満月の夜溢れる光を纏う使者の迎えに、月へと帰って行きます。

時は移れど月に焦がれるひとの想いは変わらず、月光を呼び込むため贅を尽くした月の楼閣・銀閣寺を建てた室町幕府第八代将軍・足利義政の時代は、幕府の権力衰退と同時に地方の武士が台頭し情勢が不安定な世相に加え、戦乱と大飢饉に見舞われ資金調達が難しく、京都や奈良の寺社などから、優れた松や蓮・庭石を略奪して造営されたとも伝えられています。若くして人生をはかなんだ義政が唯一 安らぎを求めた地には、侘び寂びに美を見出す、東山文化が生まれました。

悠久の歴史の中、世の栄枯盛衰を照らす慈光に ひととは今夜も魅せられます。

## 9月の行事予定

9月 2日 (水) ~4日(金) 9月定例議会 本会議  
8日 (火) ~11日(金) 各種常任委員会  
決算・予算審査分科会  
14日 (月) 永井県議グループ定例会  
24日 (木) 決算・予算審査特別委員会  
25日 (金) 本会議

"まじめにコツコツ、  
即行動"  
頑張ります!!



# 8月のフットワーク

## 刈谷市 令和2年8月臨時議会 報告（8月5日開会）

8月の臨時議会は、議会の役職および各種委員会委員の選任が主な議題（役職任期は一年、毎年8月に改選が行なわれています）

### ★新しい議会三役

役職	議員名（会派名）
議長	外山 鈺一（自民クラブ）
副議長	清水 俊安（自民クラブ）
監査委員	白土 美恵子（公明クラブ）

### ★私が所属する常任委員会

各常任委員会	改選後	改選前
企画総務委員会	○	
福祉産業委員会		○
建設委員会		
市民文教委員会		
議会運営委員会		○

### ★私が所属する会派「市民クラブ」の構成

◎黒川智明(テッソ)	○佐原充恭(トク紡織)
深谷英貴(豊田織機)	鈴木浩二(テッソ)
中嶋祥元(アソ)	伊藤幸弘(トク車体)

◎：会派会長 ○：事務長 ( )：出身会社

私が属する企画総務委員会は、企画財政・総務生活の安全等を所管する委員会。健全で持続可能な行財政運営、また、新型コロナウイルス感染や自然災害等への危機管理について、市当局と議論を深め市民皆様の暮らしの安全安心を更に高めていく活動に今後も積極的に取り組んで参ります。

## 知っておきましょう!! 新型コロナウイルス感染症が心配なとき・・・

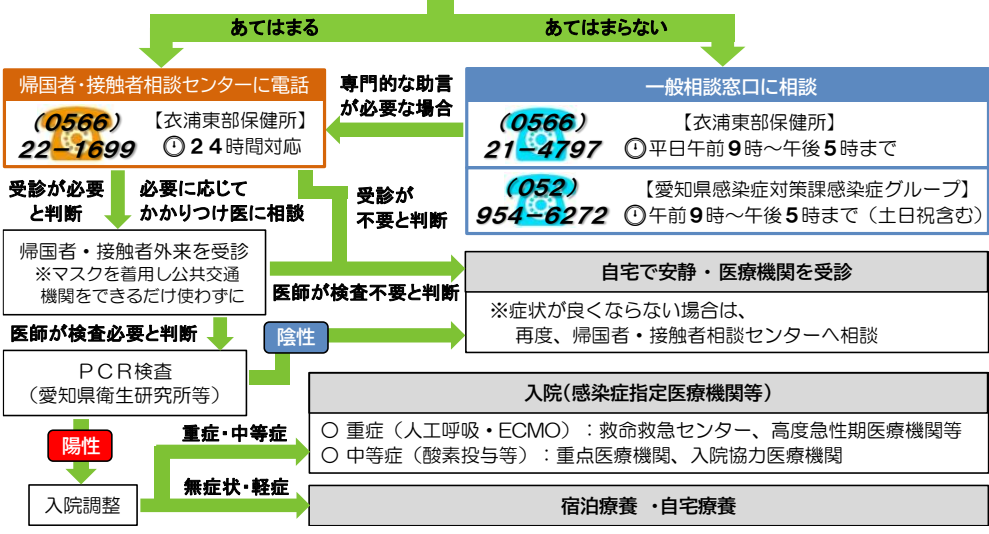
**感染を疑う方**

- ▶息苦しさ(呼吸困難)強いだるさ(倦怠感)高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ▶重症化しやすい方等(※)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

(※) 高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方、妊婦の方。

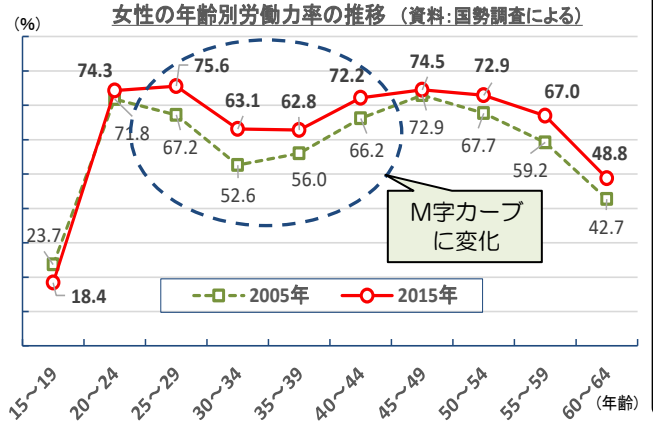
▶上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

(症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です)



## 「第2期 刈谷市子ども・子育て支援事業計画」の取り組みを紹介します。

子育て家庭の母親の就労率上昇により、教育・保育サービスの充実向上を求める声が高まっています。そのことを背景に、子育て家庭が仕事と子育てを両立できる環境整備の更なる推進を目的に、本計画が策定されています。



子育て期の年代の就労が増えてきている状況に加え労働率の落ち込み（M字カーブ）が緩やかになっています。母親は、出産後も就労を続け、仕事と子育てを両立させながら生活を営んでいることが顕著な変化であり、子育て世帯への教育・保育サービスの拡充が求められています。

計画期間	2015年度・・・	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		第1期		第2期 子ども・子育て支援事業計画			

- 基本目標**
- 【Ⅰ】 地域における子ども・子育て支援
    - ・交流と子育てネットワークづくりの充実
    - ・幼児教育・保育の充実 等
  - 【Ⅱ】 仕事と子育ての両立支援
    - ・多様な保育サービスの充実
    - ・放課後児童クラブの充実 等
  - 【Ⅲ】 子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり
    - ・妊娠・出産への支援
    - ・子どもの成長・発達への支援 等
  - 【Ⅳ】 支援が必要な子ども・家庭への支援
    - ・障害のある子どもへの支援
    - ・経済的負担の軽減 等
  - 【Ⅴ】 子どもがのびのびと育つ教育環境づくり
    - ・地域で多様な経験や価値観を学ぶ場づくり
    - ・生きる力を育てる学校教育の推進 等
  - 【Ⅵ】 子どもにやさしいまちづくり
    - ・子育てを支援する都市環境の整備
    - ・遊び場の確保 等

現状の支援に対し拡充する取り組みの量の見込みと確保の内容				
	事業名	量の見込み	確保の内容	
教育・保育	1号認定（3～5歳）・・・幼稚園等での教育	1,479人	2,600人	
	2号認定（3～5歳）・・・保育所等での保育	2,511人	2,997人	
	3号認定（0歳）・・・保育所等での保育	246人	343人	
	3号認定（1・2歳）・・・保育所等での保育	1,078人	1,728人	
子育て支援	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	1,378人	1,520人	
	一時預かり事業	認定こども園での預かり保育	31,562人	36,000人
		その他の一時預かり	30,587人	32,900人
	病児・病後児保育事業	500人	2,848人	